

# 事例 1

三愛物産株式会社三重支店 (業務内容：建設業)

## 三重支店で障がい者雇用のノウハウを蓄積するために

### 課題

経営方針により障がい者雇用に推進することになったがノウハウがない

- ▶ 支店担当者に障がい者雇用について知識がない
- ▶ 三重県における障がい者雇用の情報が皆無
- ▶ 何から始めていいのか分からない

### 取組

三重支店で障がい者のテレワーク就労を実施してみる

- ▶ 他社さんの取り組みを勉強する
- ▶ 三重県の障がい者のテレワーク事業に参加する
- ▶ 就労移行支援事業所との連携で実習と委託訓練を実施する

### 展望

三重支店での障がい者雇用の充実を図る

- ▶ 三重支店でノウハウを蓄積し障がい者雇用率を底上げする
- ▶ 障がい者のテレワークを始めることで自社のDXも進めていく
- ▶ 障がい者雇用に長く継続するため社員の意識改革、作業環境を改善する

### 障がい者実雇用率

現在

2.11

%

3年後目標

3

%

障がい者雇用についての  
ノウハウ不足

- ・ 他社事例を学ぶ
- ・ 就労支援事業所との連携
- ・ 実習を受けてみる

- ・ ノウハウの蓄積
- ・ 会社全体の障害者  
雇用率の上昇

### 事業に参加しての感想

越後さん (支店長) 山本さん (顧問)

障がい者雇用の知識、情報が皆無だった弊社が本事業に参加し、現在、テレワークでの委託訓練を実施させていただいているのは、ひとえに県の担当部局、就労支援事業所、テレワーク委託訓練を受託している事業所など皆さまとのネットワークのおかげです。4月1日の入社を目指し訓練中の彼が、仕事のやりがいを持てるように作業環境の整備、意思疎通の改善など社員一同で更なる意識改革や勉強を行い、2人、3人と採用できるように会社のレベルアップを目指します。

障がい者の委託訓練の様子

